

商品名 ゾニサミドOD錠50mgTRE「KO」 医薬品基本情報

薬効	1169 その他の抗パーキンソン剤	一般名	ゾニサミド口腔内崩壊錠
英名	Zonisamide OD TRE KO	剤型	錠
薬価	414.40	規格	50mg 1錠
メーカー	寿製薬	毒劇区分	(劇)

ゾニサミドOD錠50mgTRE「KO」の効能・効果

パーキンソン病

ゾニサミドOD錠50mgTRE「KO」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴

記載場所	使用上の注意
注意レベル	禁止

2. 重篤な肝機能障害又はその既往

記載場所	使用上の注意
注意レベル	注意

ゾニサミドOD錠50mgTRE「KO」の副作用等

1. 中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis
、TEN、皮膚粘膜眼症候群、Stevens-Johnson症候群、紅皮症、
剥脱性皮膚炎、発熱、紅斑、水疱、びらん、そう痒感、咽頭痛、眼充血、口内炎、
過敏症症候群、発疹、リンパ節腫脹、肝機能障害、臓器障害、白血球増加、好酸球
増多、異型リンパ球出現、遅発性の重篤な過敏症状、ヒトヘルペスウイルス6再活
性化、HHV-6再活性化、ウイルス再活性化、再生不良性貧血、無顆粒球症、赤
芽球瘡、急性腎障害、咳嗽、呼吸困難、胸部X線異常、間質性肺炎、AST上昇、
ALT上昇、γ-GTP上昇、重篤な肝機能障害、黄疸、熱中症、発汗減少、体温
上昇、顔面潮紅、意識障害
2. 悪性症候群、発熱、意識障害、無動無言、高度筋硬直、不随意運動、嚥下困難、頻
脈、血圧変動、発汗、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、血小板減少、
横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロ
ビン上昇、腎結石、尿路結石、腎疝痛、排尿痛、血尿、結晶尿、頻尿、残尿感、乏
尿、幻覚、妄想、錯乱、せん妄、精神症状
3. 眠気、食欲不振

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

記載場所	その他の副作用
------	---------

4. 運動失調、発汗減少

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

5. 過敏症、発疹、湿疹、そう痒感、ジスキネジア、気力低下、抑うつ、めまい、ふらつき、睡眠障害、頭痛、頭重、幻視、幻聴、精神活動緩慢化、不安、不穏、精神症状悪化、感覚異常、無気力、自発性低下、異常感、激越、行動異常、興奮、認知症悪化、意識消失、異常な夢、自殺企図、ジストニア、しびれ感、認知障害、血圧低下、動悸、起立性低血圧、血圧上昇、上室性期外収縮、心室性期外収縮、悪心、口渇、胃不快感、便秘、嘔吐、下痢、味覚異常、胸やけ、腹部膨満感、流涎、胃炎、嚥下障害、胃痛、歯周炎、腹部不快感、胃潰瘍、口内炎、歯肉炎、白血球減少、赤血球減少、ヘモグロビン減少、白血球増加、ヘマトクリット減少、貧血、顆粒球減少、血小板減少、好酸球増多、ALT上昇、ALP上昇、AST上昇、LDH上昇、 γ -GTP上昇、肝機能異常、BUN上昇、排尿障害、頻尿、クレアチニン上昇、尿失禁、尿中蛋白陽性、膀胱炎、体重減少、CK上昇、立ちくらみ、浮腫、倦怠感、脱力感、転倒、発熱、血中カリウム減少、トリグリセリド上昇、腰痛、視覚障害、四肢痛、脱水、気管支炎、筋肉痛、血中尿酸上昇、血糖上昇、呼吸困難、前立腺癌、打撲、汗疹、関節痛、顔面潮紅、血中コレステロール上昇、骨折、体重増加、脱毛、白内障、副鼻腔炎

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

6. 発汗減少、自殺企図、心室中隔欠損、心房中隔欠損、流産、催奇形作用、口蓋裂、呼吸障害、昏睡状態、ミオクロヌス、眼振、突然死、血清免疫グロブリン異常、IgA異常、IgG異常

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

7. 自殺、自殺関連行為、自殺念慮、自殺企図

記載場所	使用上の注意
頻度	5%未満

ゾニサミドOD錠50mgTRE「KO」の相互作用

1. 薬剤名等：抗てんかん剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	本剤と抗てんかん剤の併用時、これらの薬剤を減量又は中止
理由・原因	フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタールではCYPが誘導され、本剤の血中濃度が低下	指示	注意

2. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	眼振・構音障害・運動失調等のフェニトインの中毒症状	投与条件	-
理由・原因	本剤によりフェニトインの代謝が抑制され、血中濃度が上昇	指示	注意

3. 薬剤名等：三環系抗うつ剤

発現事象	セレギリンにおいててんかん、セレギリンにおいて筋強剛、セレギリンにおいて高血圧、セレギリンにおいて死亡、セレギリンにおいて失神、セレギリンにおいて動作・精神障害の変化、セレギリンにおいて発汗、セレギリンにおいて不全収縮	投与条件	-
理由・原因	相加・相乗作用	指示	注意

4. 薬剤名等：四環系抗うつ剤

発現事象	セレギリンにおいててんかん、セレギリンにおいて筋強剛、セレギリンにおいて高血圧、セレギリンにおいて死亡、セレギリンにおいて失神、セレギリンにおいて動作・精神障害の変化、セレギリンにおいて発汗、セレギリンにおいて不全収縮	投与条件	-
理由・原因	相加・相乗作用	指示	注意

5. 薬剤名等：レセルピン誘導体

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミンを減少	指示	注意

6. 薬剤名等：フェノチアジン系薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミン受容体を遮断	指示	注意

7. 薬剤名等：ブチロフェノン系薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミン受容体を遮断	指示	注意

8. 薬剤名等：スルピリド

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミン受容体を遮断	指示	注意

9. 薬剤名等：メトクロプラミド

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	脳内ドパミン受容体を遮断	指示	注意

